



## 世界で活躍するアジアの映画人を多数輩出

## 映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2026」開催・参加者募集

タレンツ・トーキョー実行委員会は、映像分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（=Talents、タレンツ）」を育成することを目的とした「タレンツ・トーキョー2026」を、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京との共催で開催します。本事業は「ベルリン国際映画祭」の一環として開催されている「ベルリナーレ・タレンツ」の、海外展開における唯一のアジア版として2010年から東京で始まり、世界を舞台に活躍するアジアの映画人を多数輩出し、人材育成事業としての成果が世界各地で注目されています。今年で17回目を迎える本事業は、アジアの若手映画作家やプロデューサーを東京に招き、「ベルリン国際映画祭」関係者等の第一線で活躍するプロフェッショナルからの講義や、映画関係者に向けてのプレゼンテーションなど、約1週間にわたるワークショップを通して、映画人として世界で活躍するためのノウハウとネットワーク構築の機会を提供します。また、本事業のイベントとして、2025年度に続き、修了生の活躍を広く発信する上映会を実施します。詳細は後日お知らせします。

## &lt;開催概要&gt;

- 名 称 : タレンツ・トーキョー2026 (Talents Tokyo 2026)  
実施期間 : 令和8 (2026) 年 11 月 23 日 (月・祝) ~ 11 月 29 日 (日)  
会 場 : ビジョンセンター有楽町 ほか ※予定  
プログラム  
- 企画合評会 (映画化企画のプレゼンテーションと審査・表彰)  
- 映画監督、プロデューサー等のプロフェッショナルによる講義  
- 参考作品の鑑賞  
- 参加者同士や講師陣との交流、東京エクスカッション  
主 催 : 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京  
タレンツ・トーキョー実行委員会  
提 携 : ベルリン国際映画祭 (ベルリナーレ・タレンツ)  
協 力 : ゲーテ・インスティトゥート

## [ タレンツ・トーキョー2026 の応募について ]

- 対 象 者 : 東アジア、東南アジア地域の映画監督・プロデューサーを目指す方  
募集人数 : 国内外あわせて 17 名  
募集期間 : 2026 年 5 月 1 日 (金) 正午から 5 月 31 日 (日) 23:59 まで  
選考期間 : 2026 年 6 月から 8 月まで

詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://talents-tokyo.jp>

公式 SNS (Instagram / Facebook / X / YouTube) : @talentstokyo

## &lt;本事業、掲載に関するお問い合わせ&gt;

タレンツ・トーキョー実行委員会 担当 : 松本  
メール : [talents@talents-tokyo.jp](mailto:talents@talents-tokyo.jp)

## 修了生向け支援プログラムのご案内

タレンツ・トーキョーでは、修了生のさらなるステップアップを支援するため、各種支援事業を実施しています。修了生向け支援事業として2014年度から実施している「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」に加え、2026年度より新たに「ミートアップ・サポート・プログラム」を開始します。世界的な国際映画祭関係者とのミーティングや関連イベントへの参加機会を提供し、国際的なキャリア形成および活動の展開を支援します。なお、ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム、ミートアップ・サポート・プログラムの応募受付は、いずれも2026年5月1日より開始します。「企画開発ファンド」「プロモーション・ファンド」「フェロースhip・プログラム」の3つの枠組みで、タレンツ・トーキョー修了生の映画製作・海外進出を支援します。

### <応募について>

#### ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム 2026



「企画開発ファンド」「プロモーション・ファンド」「フェロースhip・プログラム」の3つの枠組みで、タレンツ・トーキョー修了生の映画製作・海外進出を支援します。

- 対象者** : タレンツ・トーキョー修了生  
**募集人数** : 応募状況に応じて決定  
**募集期間** : 2026年5月1日（金）正午から5月31日（日）23:59まで  
**選考期間** : 2026年6月から8月まで

#### ミートアップ・サポート・プログラム 2026



海外映画祭へ派遣し、現地でのミーティング参加や関連イベントへの参加をサポートします。

- 対象者** : タレンツ・トーキョー修了生  
**募集人数** : 年間5名  
**派遣先** : ロカルノ国際映画祭／ベルリン国際映画祭  
**募集期間** : 2026年5月1日（金）正午から5月31日（日）23:59まで  
**選考期間** : 2026年6月

詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください：<https://talents-tokyo.jp>

<本事業、掲載に関するお問い合わせ>  
タレンツ・トーキョー実行委員会 担当：松本  
メール：[talents@talents-tokyo.jp](mailto:talents@talents-tokyo.jp)

**【参考】タレンツ・トーキョー修了生の主な実績（カッコ内は参加年）**

・アンソニー・チェン（2010年）監督

『イロイロ めくもりの記憶』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール（最優秀新人監督賞）他多数受賞  
『We Are All Strangers』ベルリン国際映画祭コンペティション部門選出

・石川慶（2011年）監督

『愚行録』ベネチア国際映画祭オリゾンティ部門選出、『蜜蜂と遠雷』毎日映画コンクール作品賞他多数受賞、『ある男』日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、『遠い山なみの光』カンヌ国際映画祭ある視点部門選出 他多数受賞

・ピアンカ・バルブエナ（2012年）プロデューサー

『痛ましき謎への子守唄』（ラヴ・ディアス監督）ベルリン国際映画祭銀熊賞（アルフレッド・バウアー賞）受賞

・ヨー・シュウホア（2015年）監督

『幻土』ロカルノ国際映画祭金豹賞（最優秀作品賞）受賞、東京フィルメックス・コンペティション部門選出、米アカデミー賞シンガポール代表

・早川千絵（2014年）監督、水野詠子（2019年）プロデューサー、アレンバーグ・アン（2014年）コ・プロデューサー

『PLAN 75』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール スペシャルメンション（特別賞）受賞

・早川千絵（2014年）監督、水野詠子（2019年）プロデューサー、アレンバーグ・アン（2014年）コ・プロデューサー、ユリア・エフィナ・バラ（2020年）コ・プロデューサー

『ルノワール』カンヌ国際映画祭コンペティション部門選出

・ファム・ゴック・ラン（2017年）監督

『Cu Li Never Cries』ベルリン国際映画祭最優秀初長編作品賞受賞

・ラッチャプーン・ブンブンチャヨーク（2021年）監督

『ユースフル・ゴースト』カンヌ国際映画祭 批評家週間選出

・佐藤菜穂美（2025年）プロデューサー

『しびれ』（内山拓也監督）東京フィルメックス審査員特別賞受賞、ベルリン国際映画祭パノラマ部門選出



「タレンツ・トーキョー2025」実施風景